

【JCCA 九州支部】勉強会の記事が掲載されました



建設コンサルタント協会（建コン協）九州支部（山本洋一支部長）は17日、福岡市博多区のA S

建コン協九州支部

会員向け勉強会開く

転換期をチャンスに

Cビルで会員向けの勉強会を開催、同協会の藤本貴也副会長が「社会資本整備を巡る最近の動向と建設コンサルタントの当面の課題」と題し、政権交代を中心に講演した。

藤本氏は、政権交代下であっても社会資本整備の推進と公共工事の品質

確保に向けた取り組みの継続は必要とし、超党派議員連盟の必要性を指摘。立ち上げに当たっては、超党派による議員立法である公共工事品質確保法が「きっかけになるのではないか」との見解を示した。

パイプとあわせて、これまでの理解者とのパイプも継続すべきだと指摘。公共事業に対する地域の理解者を拡大することも大切とした。

札率を引き上げるための施策を関係機関に要望していること説明。発注者と設計者、施工者による三者協議会については、建築と同様、設計意図の伝達を業務と位置づけ、三者協議会を展させ、コンサルタントに適切な報酬を支払うことが必要と主張。地域コンサルタントの振興策と

して、財務体質強化のための政策金融や税制、前払いなどの経営支援を提案した。最後に同氏は、政権交代で転換期にある今は「公許法など」制度上の制約を凌駕する、今までできなかったことをやるチャンス。さらに勉強し、業務の改善につなげたい」と述べ、締めくくった。